

別記  
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	2022 年 7 月 12
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） カルビー株式会社 代表 取締役社長 江原 信 電話 03 - 5220 - 6222
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	カルビーグループ環境マネジメント (独自のシステム)
適 用 範 囲	カルビーグループ会社の事業場(本社、工場、営業所、事務所を含み、以下「事業場」という。) 京都府内では カルビー株式会社 京都工場 のみ
導 入 年 月 日	2019 年 4 月 1 日
認 証 番 号	
基 本 方 針	環境活動方針と4本柱 持続可能な未来を実現すべく、企業の継続的存続と社会的責任遂行のために 4 本柱で活動する ①環境マネジメント ②省エネ・省資源 ③コ ミュニケーション ④資源循環
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための 目標（以下「目標」という。）	全社目標 ①CO2排出量：2018年度を基準年度として、原単位(売上高ベース)で、2030 年度に30%削減する。 ②使用水量：2018年度を基準年度として、原単位(売上高ベース)で、2030年度 に10%削減する。 ③廃棄物量：2018年度を基準年度として、原単位(売上高ベース)で、2030年度 に10%削減する。 ただし、当工場においては、原単位の毎年1%削減
目標を達成するための取組の内容	①省エネルギー(CO2)：エネルギーフローの見える化、ヒートポンプの導入、ポン プの制御変更、高効率照明への更新、生産設備の運転時間見直し、コンプレッサーのエ ア流量の測定 ②廃棄物 排出量の削減：不良製品の削減 ③再生可能エネルギーの導入 ④電力契約エコプランに加入
目標を達成するための取組の進捗状況	①省エネルギー(CO2)：エネルギーフローの見える化、ヒート ポンプの導入、ポンプの制御変更、高効率照明への更新、生産設 備の運転時間見直し、コンプレッサーのエア流量の測定 ②廃棄物排出量の削減：不良製品の削減
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対 する評価	①老朽化の空調、ボイラー設備を更新し、高効率稼働 ②太陽光の導入により、使用電力を4%程削減 ③廃プラの一部を有価で引き取ってもらう業者の選定
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について1年に1回確認を行っている。 当工場においては、これまで違反及び行政当局からの指摘はな かった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	昨年度より引き続き、「全社エネルギー管理委員会」、「全社廃棄物管理委員 会」などテーマ別の担当者会議を定期的に行い、PDCAサイクルに沿って活動す るための仕組みづくりを進めていく。 評価・見直しの必要性については、原則として1年に1回、検討している。 全社的には前年度は目標を達成できたので今年度も同システムを継続して運用す る。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。